

【ご参考資料】

2014年10月28日

現職大統領再選を受けたブラジル金融市場の動向

現職再選を受け、株、債券、リアルが下落

2014年10月26日（現地時間）に実施されたブラジル大統領選挙の決選投票の結果、労働党の現職大統領、ジルマ・ルセフ氏が僅差で再選を決めました。これを受け、週明けのブラジル金融市場では、株、債券、ブラジルリアルが下落しました。ただ、投票日に向けて比較的大幅な調整が進んでいたこともあり、株、債券、リアルとも朝方の安値からやや戻り歩調となりました。ボベスパ指数は前日比2.8%下落、リアルは対円および対米ドルで同2.2%～2.3%程度の上昇となりました。

具体的な政策提示が市場からの信認回復の鍵

貧困対策を重視するルセフ氏の政策は、低所得者層からの支持を集めた一方、財政をはじめとする構造改革の遅れを招き、高インフレと景気の低迷が常態化していました。こうした状況の下、今年3月以降、大手格付機関によるブラジルの格下げ・格付見通しの引き下げが続いたこともあり、選挙期間中からルセフ氏優位の世論調査結果が報じられる度に、金融市場はネガティブな反応を示してきました。

しかしながら、先月、ルセフ氏は自らの大統領2期目には、現職のマテガ財務相を再任しない方針を明らかにするなど、財政収支の改善等の構造改革を一層推進することを求める金融市場の声に歩み寄る姿勢を見せつつあります。また、再選決定後の勝利演説では「大きな変化」を約束するとともに、「僅差での勝利が大差での勝利よりもはるかに力強く迅速な変化を生み出した例も過去にある」と語るなど、従来の政策を見直す兆しも見られます。

今後は、具体的な経済・財政政策や閣僚人事など、ルセフ氏が示す政策運営方針が、金融市場からの信認回復の鍵を握るものと見られます。

以上

【図1】ブラジル株式市場(ボベスパ指数)の推移

(期間: 2013年12月30日～2014年10月27日、日次)



【図2】ブラジル国債(リアル建て)利回りの推移

(期間: 2013年12月31日～2014年10月27日、日次)

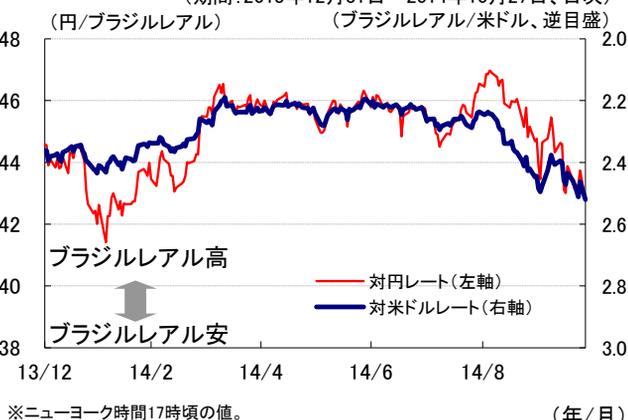


ブラジル国債(リアル建て): JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・ブロード・ブラジル

●JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・ブロード・ブラジルは、J.P. Morgan Securities LLCが公表しているブラジル国債を対象としたインデックスであり、その著作権および知的財産権は同社に帰属します。

【図3】ブラジルリアルの対円・対米ドルレートの推移

(期間: 2013年12月31日～2014年10月27日、日次)



※ニューヨーク時間17時頃の値。

(出所) Bloombergデータより野村アセットマネジメント作成